



1977
2

蘇子

蘇

蘇

蘇

蘇

蘇

蘇

蘇

蘇

蘇

百合草

蘇

蘇

蘇

蘇

蘇子集題自錄

蘇子集



玉海集題目錄

夏之部



更衣

餘花

新樹

杜若

牡丹

芍藥

卯花

灌佛

葵付花

紫

球花

郭云

楞

盧橘

百合草

菘子

螢

蚊

夏虫

若竹

青梅

早苗

五月雨

競馬

菖蒲

付

石竹

付

夏草

水草

鹿子

獸狩

石榴花

枇杷實

冰室

水鷄

蟬

夕立會



玉海集卷第二

夏

夜更

乞師熱

和してさうの空をに渡り夏衣

兵人もさう人雲乃らるもか那

酒小杯をさうさうきれりら

富士とみそ 愚判

富士山乃君とまをわ白か

和列郡

勝重

播列姫路内氏

史云

武列江戸位

玄砂

中川氏

喜雲

扇

瓜

付
小角豆

夏月

夕顔

祇園會

鴨川

鮎

蓮

暑氣

泉

納涼

校

雜夏

夜更

乞師熱

和列郡

坊いえりや孫ゆくと海りこるも吹

播磨大板住 貞因

いあり春れはみかりりうらるも吹

播磨姫路内氏 定云

季うられい身にもうらうら衣の那

賀列大正持住 重次

さうのいね身やたえりれ落衣

河内清水氏 春宵

任々うりの産前なわうい

はくううく平産せーいふ

身やううく成てうううい衣の

惠佐

君もはも身とあうせめすや衣更

安静

まど夏にすりかううう衣うふ

貞室

まりかてまうや賣僧乃衣

曰

衣樹あわいさうまなて衣衣

曰

垂のん質さうまいながい

曰

餘花

足師熱

まのせの路もや秘花坊てさうら

播磨大板

當心

本乃うとにけいんはたれ酒宴

播磨姫路

貞重

美應元年十月十日

望して尾作とゆらや普賢象

新樹

愚判

美日山の豪良緑青の類り也

徳野長崎住

夏乃さの老曾れ森もも糸うふ

播磨姫路垣内邑

山のぬりあつともりつて新樹也

泉列場住

ぬい花乃親重代やなひも立

泉列場住

日照ぬふやさ葉や付り夏本立

濃列住

夏本立何なるかとなり糸あふ

江戸村田住

夏本立のゆれは枝や打り刀

徳窓

糸此斂とみん月新乃夏本立

尾列

之也

園の葉や妻子もそれ夏本立

備前遠山

重房

楠の葉やふち付けたつまやま

備前安倉

章楠

夏ハ毛越するうや庭乃たさくら

徳窓

花の後も又花多れも糸あゆ那

恵佐

八瀬乃山里よゆり時鬼乃

穴といふ石窟とつるよのり

あともも糸あゆ鬼ういへるの夏本立

貞室

杜若

足師進

三河めて(舊友よまろく)

昔男んくく(わらやかひよく)

八橋乃種とて極(杜若と)

よりきく(おてりく)

折とるや(はきん)

沃やふ(あふ)

白れ(め)

寺町寂光寺

恭彦

伊丹利世

満吉

播磨三田住持

親次

新列郡山地民

正武

愚判

三つハ(は)

は(り)

志(な)

御(お)

杜若(と)

富士(ふ)

藝(げ)

も(と)

備列松村高島

幸坊

播磨後守善堂

頼重

播磨大坂住

友以

貞室

さしをやくは花をよと地をせむきつり

日

牡丹

先師孫

目やませぬ鳥や花乃王今城
花乃王権をりつくと去御門
屏風より守り始里り花此王
富貴人天よりもやわん乃花此取
花よ蝶とひささるや最貴人
花よ易とくくぬのき此牡丹

貞用

政重

大山氏

政三

元知

神農乃角うばかめ富貴を
仙家詩もさく此ゆんぬむむ
四五日乃うらら盛る女目く

重順

吉行

久重

愚判

さうぬ乃のまゝさきまう花乃王
花乃王もひくくさかこの地神
枝くはれんと咲や花乃切次
とくも海やあかとりあつ牡丹灯
藩架垣とりつや鼻繩黒牡丹

道諱

信徳

重隆

正式

たそりまこれ花見はこれうさく牡丹
貞長
備前世山憲賀氏
俊安

庭の牡丹のうれゆり

からし六極てあななきやうんか
惠佐
備前姫路河内氏
是誰

子とまあけうろ富小咲げと
みく

そそりわらぬ露や花乃ふう牡丹
正舎
播磨姫路幸由氏
初雲

庭もあまをいめよ一声富を
貞貞
京法田太郎

あつたきもせよや牡丹花さうり
尾所
之也

及ひうに牡丹をゆりや猫せま
吉勝
江列大津西村氏

牡丹ゆりや止くとせしする花は番
満法
江列大津西村氏

親子なごてもうのや近き隣ま
正信
大坂福嶋三三三氏

牡丹花やそはまきあふ名を
得和

登りさきたる牡丹をえりて
雲紫
越前福井氏

花乃玉も散て霸とけり時常外

咲ハ可なり花ぬる時やあつらんよ
安静

花中恵佐有氣よ入る程の
世とそめよかえれどれハ

葉あつるや福地乃園此園貴茶
貞室

芍薬 愚判

寺陰も抑む芍薬乃花足外
尾外住 有也

卯花 先作題

卯乃花代らるる種のもさし外
替野寺禪 有也

香けうあふ流る河う川木
恵佐

水いえに物さむらう卯の花代ぬ
貞室

あつ寺よとて庭よささきつる
たそく福卯木とみく

くれが井代香もまのほや花卯木
同

灌佛 愚判

胎内もまゝのやぶ産乃釈迦仏
寧ろのまゝや沛産乃いもど佛也

重久
東洞院平山氏
心月

葵

付花之葵

先師慈

一人のからるやまきふつあひ
まも行とまろくわるまきあひ

季吟
依治

祭

愚判

稻荷祭これもたうくれ節會也

徳窓

練花

先師慈

子た乃花をこふとたて

親てまり子てまりやら一花は枝
けらうすふ乞ハ練花をぬのあ

正哲
懐淑庵松菴
孝文也

郭公

先師慈

東田舎のやほくき次万人
赤子のと初声あけよかきき守

重順
正義
系系正村氏
揚功大僧持氏

声をかりあげよほしくきすか山

大坂井里法興寺

物りあててをきりりきけりきす

核列の柳住 歌本

耳たるとそ声のあやをれ郭云

播磨姫路三木氏 和重

許由とても耳にあわり郭云

核列大徳片山氏 秋月

耳のひくよ字や熊野乃時高

播列書写山 祐典

時高も女人乃教う高野山

吉野住宇野氏 浄治

高羽意塚よて

系清水也馬 宗殊

鳴て高羽ハ言ハ意塚郭云

とんでるけ高羽て移るけ郭云

中川仁馬 重定

白沸りりなげ大江山はくきす

清水四郎馬 言聴

一糸色あて

庚橋そ名のま冥途乃郭云

系清水七郎甚泉 一夢

地獄あて音わつまたる昔ぬき高

系樋口平兵衛 道知

箱根山乃さうしてゆかあひくさう

播列姫路徳田氏 史云

くさうたかく木を急やをれ桐から

樋口氏 尼

声せぬハ口ふう川木れくさうて

播列姫路 後重

耳とわす声や雅りこころあて

同

笠置よて名茶やつくき平山外
富士と云根あつらほとくきすそ地
常とあまれあうんうほとくき次
あけさうあなうさ記うねそ郭云
あさわくふとらうくくつて有
我耳と云六てんにたすの當代有
いんふさぬる着や張席の當代有

永定 是誰 政通 榮春 元春
由古 播磨姫湯形流氏 伏見任政守勲業 本五条流氏 播磨姫湯形流氏 松島大政井里盛 来孝大流氏

さくや何よ寒翁の馬乃くつて有
のりて名のれじつさめ馬に郭云
あの一の本姓てあつらほとくき次
岩らんよまげや一樹乃記くき次
月あるや辰約をまら郭云
茶入あつてはふおとくきすそ地
あつめさてさくやひつと急郭云
一声ハタにもとふさつと物着われ
子規をよん枕乃山ふあつても亦

重久 休佐 意順
播磨池野氏 丹波福智寺 秋田野代堂福院 越後柏崎 井里流氏 丹波池野氏 徳里大郎共忠 播磨銘十律

まがしきあまもや吾知子規乃多

大坂井里法華寺 宋春

法花家の者にて

ありかた声や南無妙郭云

井里法華寺 森之

かきんわけて繪時乃多声も亦

播磨縣 安重

仁仲真可小

中き世ふかたれききかきき次

大坂村休次 宗清

郭云と發よい事てうらけ

人の声とあて

生とつ社若あつたかきき於末

井里法華寺 惠幸

比叡山にて

山々や寶地坊跡乃志き声

寺町常光寺 泰永

あつたあて

すこめあまけやあつたれりき次

泉列博阿知氏 定宣

いなすこいふあて

秋もそもいなすふなげや郭云

中嶋法華寺 宗朋

極乃あふ口とまふなせなき次

清水第(後) 言聽

郭云

愚判

冥途よりもくや出志やくれ郭公
抱いしひ志そりやなぐねむき次
郭公なくといひとさうねかれ
やせらるるまた声もせぬ郭公

正哲

敦賀野原氏
定利

辻女

乞ハ酒升氏乃何果の娘也

御作とそ

多ひてらちへいしゆしや郭公
叶ハあゝ恋とさせぬむき次
なるまゝハ蛙よ志うしむき次

之政

静真

一武

とりも折鳴りし時と時乃高
厨ても初着空ありしむき次
いとあせりゆたなき物や郭公
笑し居や耳の何あから郭公
耳乃比並と常任たりて時の高
郭公意多ふ均しや兵耳通
伶倫り耳なりや山がとくきす
口乃なきと蜂よおとけりむき次
門のうららよ耳うえとつ郭公

徳窓

日

信清

幸以

道諄

貞因

善入

真隆

吉英

武列は戸佐主

糸平尾小左

紀列越野

大坂之住

京三条山本氏

播磨三本長寺

丹列福知山横良

鷓乃声と先さうたしや郭云

見山三篇
隈光

夏の我亦鷓となすもや不き次

东六条下村氏
方角

三鳥乃秘事一也もあま時鳥

杉列大坂任
宣潜

鳴あつせあまの歌也郭云

东一条上山
正光

ゆふ夜もつもあま代と替也郭云

加友

待よあそて真やさめられむき守

河内清水氏
徳窓

心つよや侍よりくすほきき

和列郡山
春宵

心うらよひにわうけ郭云

借中吉野
安成

氣流くもや声松浦山知も東次

信元

たのむそやたのてんれく郭云

大坂早園
定里

旅よそ男まうりく人乃

遊音よ

又と声さうのぬハ若サ不帰のあ

播磨姫路
重利

声せぬハ流うらうらよ郭云

舟類屋
政信

初言とま侍りとなふり

かよりなれハむりく合言よ

命とわけくつとこをまけ

そいにかつよやまてなれ

らまうし 坊りし 又啼く

さびたれハ

又さくハ命乃酒そやとさす

声乃やとさハつ成文字そ郭云

水の色と清うのませーやとさす

水色乃雲井になくや去波乃鳥

升雲霧之俄ふりよわされ

余ふささ名田人多げとて

なげさへやとてやあり郭云

参列赤坂直良

正治

勢利村藤原直良

忠次

参列赤坂直良

重隆

参列赤坂直良

貞因

卯月廿七日父代遠忌ノ郭云

とて

先考乃涙おそくそほくきす

あまたく宜ひくうかけやとて

声とさふさふと月毎此郭云

五月毎降つら目もあぬ乃

御もくくうのひけるふさ

會中とてたのめ たま守

物り物一郭云鳴たれと

京栗甲中尾

正伯

参列赤坂直良

梅盛

参列赤坂直良

幸以

かくきてわたりぬ

多人や口すさるんこれほととぎす

播磨高田 善清

醍醐わたりよそそるよあそ

備中吉野氏 信元

やまこひなげ笠とり山乃花をきす

奥田南宗 清政

まうしよの山あふ渡乃花をきす

曉方かのうふあそ

丹波榎御前氏 立心

己の声かすやとなげなをきす

加賀高田氏 正種

めもあそつつかねなげ時の鳥

有頼屋 政信

みんれもにぬあつ月乃郭ト云

曉ふなげや本音家鶏乃聲

糸山本善長 善入

あつらるや君乃涕寝心時鳥

江列大津福良氏 又吉丸

千金衣てらあそわ〜郭ト云

播磨赤松武殿 三吉

稲荷あそ

糸山本善長

くふもあそなげやま〜ん郭ト云

播磨大後井世氏 善入

化鳥なりとりあそそも来るげ杜鵑

因幡多田真節 正安

妙な海ハ夫乃鞍々時乃とり

勢利兼名味世氏 俊治

雲乃よふ啼ゆや子規竟竟天

播磨姫宮

啼よけてまうせよ五調子規の声

井上茂

空にわく潤子や上母をかくき次

播磨大板武野氏

俊真

為りきてなげやらんる子親此声

播磨姫路武野氏

三吉

親のあ子ハ作れるも志き此声

徳窓

うひすのり親あや一かくき次

勢利松竹野氏

曰

山煮此玄孫もあまほくき次

野口甚在野氏

良信

是れ疵み一人小似よ郭一云

則重

雲路をやうく所龍馬乃雷代為

宗永茶茶本氏

宗真

卯舞乃雷當しう社作き次

敷賀野氏氏

曰

炎声も笑くうとらんあううあ

永吉

一あまハ時乃一字うかくき次

播磨勢利松竹野氏

清長

一あまハめあしとらくかくき次

加友

若れくぬいさく云宿う郭一云

武列任戸任

正賀

若のれあハ是やせんり郭一云

播磨大板庄

満永

若とわけよ若ハ於わけよ郭一云

若井土兵衛

富重

若欲ふあけてなまあ建此郭一云

濃列任

芸哉

月夜よりこいつきよ一郭一云

宗永甲中氏

正伯

禪鞠の眼とさますりかくき次

泉列博水野氏

頼廣

釈迦ハやせんあまや大佛郭一云

宗永宗永氏

近式

中身のハ笑ひをけりけりき次

徳列喜長氏 信元

在東京乃時為寺町よまあて

中身のト鳥鳴と紙巻京朱雀

弊列兼名任 良利

鳥乃さく此中身の是く郭云

振列大板任 善清

中身のやめけてる所そんがくきす

丹波福知山横長 吉英

ひけてよまのハ中身のそんがくきす

振列大板井世氏 常久

とこよ花やわそんわけ不郭云

徳野長為石養 一入

郭云声ハ疎勝おわそんわけ

恵佐子十五 久松

声ハ音ふひけりきすそんがく

恵佐

云此旗はしあけておのま郭云

日

云此の旗はしあけておのま郭云

日

あり寺よて

志き乃声すはは法より寺此場

日

親よあまは傳し又此年の卯月

日

ゆたろふあ乃在れ傳と郭云

日

とつとあつり鳴や守治山郭云

安靜

るまゝ志やつれわつ執心のねき

季吟

祖母七廻忌よ

おけしとや弘誓乃船れ作らき次
日

九重よ稀さや表乃作らき次
貞室

来啼物や音より雀れらき守
日

いささらハ能くめそらん作らき守
日

郭とまれそいとわ此寐えり
日

西村長治つまたれ死去と
とありひて

しまあにむつれ行乃時鳥
日

熊野那智れ山とて

おまたわけよ籠も三重作らき守
日

八咫の山家よと作らき守

あつさりしつらハ

里乃若れや世子になら郭と
日

卯月初川く祖父是知菴

らせあまひし時

命よわめつてまら行し時鳥
日

くすのれもとて

雲乃つらふなふれらき守白水
日

大津めて

息あふなげ鳩の油やとくき流 日

塙列山田竹内何去更とつ云

まよめてかこのすすき人

物舎とりのか〜げりかふ

南たふ

村〜ちやか〜き枝乃や夕取 日

物集女と〜ふふよて

履代と〜まひりす免そ郭と 日

履代よ声よ志〜川郭と 日

との〜か〜ふと〜す〜な〜く〜い〜と〜余 日

独吟乃千白此うち

かの〜ぬ〜志〜う〜移〜も〜靈〜る〜郭〜と 日

名此建月乃弓枝つまを〜む〜き守 日

唄めてぬあ法〜よつらう

侍ら

浦あまも〜や難波乃郭と 日

泉列唄よ〜り〜り〜時かめ

不乃人々くあゆや一尺
とそ乃まそとつりて教る

せよと云わしよ

不乃くなんとも来るけなき寺
大坂あてまてる氏のみおじ
おまじつらりて

若のれ必れ志もつもの子一時也

標

先作慈

日

あふあくや終乃極せり雲ん草
水もよそれ雲う標乃くまれあ

武列は昌三郎

春清

内田氏

年吉

盧橘

先作慈

ま花と居あうにみる左あは
橘とつらう花瓶やかうしとら

播磨姫河那院

由古

寂光寺

泰四

愚判

えんつりと尺のう若もやうし
生花よのーや本交本世あ

吉地寺島

可頼

佐列世山

吉久

枕音残美人妃や跡してとこよ花
たらし花やむしう男たうの物
蘇我蘇我野代
後仇
核別大板位
香清

あはれ方さもまればささえわさし

白ひあつ安倍くちをさや花さうせ
作者知

橋ハげふささ何と志たさききうま
月

やろくくと降やわらうの花は面
安静

百合草
愚判

花の若れゆり物さ行ふ持も片
核別大板位
貞因

若れゆりは時ふ花さけ車百合
泉州原位
車重

若れ玉と花ふ載りり車ゆり
朝龍田位
草栖

とられ花若れ花乃車百合
徳窓

鬼百合の口ゆり物さ半方草
核別大板位
長昌

池乃中鴻よゆりの咲ころと

みく

ゆり乃花うゆりよ池や鬼々鳴
兎山三郎共書
隈光

鬼ゆりやわらう火とやまとうさ
季吟

花子

先師述

花乃帽子みのりや志けりけり坊主
くは花の巻ふ坊やゆいゆいのこ
少るぬや火とと平とせ川花子花

愚判

兼入の袋ねよ人のめととと

こまふなるも際やくくは花伐衣
花子乃名や御是取のこまふも

松玄右衛門

寸枝

下寺長前豊民

元重

丹波任次

正次

安静

貞室

螢

先師述

螢とふ道あさけりひりり
周の花ハ月乃あますすりやろり
昼出ぬハ月の火けなさん螢のれ
ととろりささ螢ハ屋乃日まけろり
暑さハ時ハ夕ふもやろり花火火
流螢行ハ敵ハ武者あつさ
螢火ハ吹り風乃手燭ハ那

寺新寂光寺

泰山

丹波福知山

政三

丹波福知山

政三

南都善導寺

行惠

丹波福知山

政通

堺成徳寺

玉鞆

貞用

子にぞれいひち属もいふる螢水 寂老寺 恭因

紙よつて尺持螢火や子蛇影 同

蛛乃巢にかほ螢火のけ燈籠 正成

風かかりも梅の六花乃やるうふ 廣寧

若いじもほ雪らもこりやも螢水 折列大改并世長 恭之

岳西もゆる螢火火窓の那 丹波福知山氏 直政

糸より四里まよと云空流火

螢とわつよまうりて

螢火とさるればるる糸と空流 高瀬太助在末 梅盛

と乃つらゝ花やわらわ火打山 丹波福知山氏 政通

星落て螢とさるや火打石 尾列後田柳才長 竹端

糸よとんてあふ心螢や日さ川 播列饒平伴 意須

水よ火流いころ螢や地さ川崎 折列伊井山村氏 盛定

山乃腰もつら螢やひころ帯 折列大改并世長 長之

吹風や螢火ちさすもあゝ死流 貞因

螢火よやけぬ火火龍乃かきせ 親善

火とともす螢やいころ油虫 折列大改并世長 如貞

愚判

くらく日れらもくともえ付堂片
奥田治安 政之
 水とやく火とそいふさよふや
杉列大政 末元
 水てとえそあさひよふさよふや
江列大津高橋 正信
 川隈ハ雲れいとよふさよふや
但易生野長野氏 三忠
 とあもとい光陰さかたよふさよふや
楳易姫路海邊氏 正貞
 てあ火うや夢乃よふさよふや
長列塙 貞成
 葉舟乃火麻いとよふさよふや
敦賀大井氏 重次
 葉の戸や花ハ雲乃老り堂
杉列右衛門氏 信頭
 ひろハ堂河原乃石れ動り小

神なり乃火う日よ清房とよ堂
越前福井州氏 玄系
 本毎あハかーくされよ花やろ
播磨姫路山氏 時雨
 葉乃本あハとまろ堂ハ火端小
多夫大市市即 能貞
 かいとーとさう堂とくハ月やと
但列生野中嶋 加友
 火とやハと生乃小精うとよ堂
杉列大政 安永
 みるよあや蜘蛛乃家きて花堂
播磨姫路山氏 正隆
 足高人の月星ハ花う堂乃火
大坂信野利茶 交云
 吠友う眼成ーとよふさよふや
濃列竹ノ島氏 正重
 そろとあも堂乃花り自在うあ
濃列竹ノ島氏 吉久

窓にきて戸庭も照す雲如那
 胸あそく庭は火よりす雲如那
 空食の糸く月よふくやう庭
 水玄月の陰虚火動乃やう庭
 雲火の月乃舞れあめくくく
 瓢箪にとりて庭やすいさく庭
 けもそとくおれいあやう庭
 あうち守ふ一夜とありて
 ぬのありけるよ

杉列の母早利氏 定里
播列雅路高井氏 元利
泉列保規多摩氏 一武
新列集世嶋氏 重紀
奥山三郎早良 隈光
伊田長吉 可市
 惠佐

ぬふのゆり火の墓原より花雲
 うらまの縁く火のちりくよ花雲
 けもそとくおれいあやう庭
 雲火の硫黄やうあまのけり水
 湖水乃やうりより雲とぬ
 けもそとくおれいあやう庭
 ぬのありけるよ

同
 安靜
 同
 貞室
 同

大せくしにいつまゝあつねぢるかま 同

蒲細工とすらすらもとみく

堂火いたくえけりく此砂子の家 同

勢列松坂津家乃寺にて

秋舎小

是も又半金とさうとよわくは 同

螢火やひろれあつたれゆえすまり 同

日盛の屋と秋半乃かろるか那 同

月乃前ハ尻やすやめてとみぢる 同

蚊

蚊の幼虫乃つめてよ伴勢國

園地産といふ前よとまりゆり

し小庭に橋乃花盛なりはれ

たらとふ乃書にせくらもそねね秋小

先師述

蚊をよけよぬ指振書もあ

庚申乃秋蚊の舎もなれ

宗長
法作

勢列大坂住
貞用

申あゝて人し今宵ハ蚊乃餌片
かどとしり蚊帳ハ巾い袋か那
蚊ハ巾乃乳よこおつてよき事ハ
蠅蚊ハ蚊乃向にすろ。よろと屋

愚判

夏れ蚊ハ蚊帳内月乃友もろふ
蚊みくられハ蚊乃巾紙帳か那
かハ人としりすせそ人ハ蚊さけけ
まも霞夏も蚊すめろ山家ろふ
濃列竹ノ鼻太良
可政
紀伊和歌山日見氏
負長
尾列
有也
揚列井上長忠氏
利昌

夢踏ふハ閑守となり蚤蚊ハ那
蚤と蚊ハ人乃あつとと餌食ハ
連身師乃宿めて
蚤と蚊乃所合やつとあくの物
くつ付あつとハ巾もあつと那
ひあがとてまると血とすう蚤蚊ハ
蚊帳ハあふとら億一蚤乃有
蚊着積う蚊帳ハ何るあや声
蚊帳ハ何れさうとてまわつと那

丹列福智山良民
土心

播列雄踏水野氏
正重

播列鶴一住
意煩

揚列小住住
副村

濃列竹ノ鼻太良
可政

紀伊和歌山日見氏
負長

尾列
有也

揚列井上長忠氏
利昌

紀列那智山良民
如海

越本福井住杖出氏
方作

播列雄踏水野氏
政次

揚列湯山住
重層

尾列名護屋住氏
一和

丹列福智山良民
吉英

江列大津高橋氏
正信

江列大津早崎氏
重安

人乃身ハ蚊柩立於地をわうか那
 蚊柩乃わとみやん子ら虫目か祿
 蚊柩ハ声からしし幾ゆふか那
 蚊柩よるまらとつらく物おせうま
 蚊雷にまゝは堂やいふひうり
 蚊乃あまハ盗人よせぬ夜番小
 行人ハ我とくそくくそくかあ
 姿居なすてくひや蚊柩溝のさ
 蚊柩よるの墨繩う蜘蛛乃糸
 曰 惠佐 重好 光継 義鄰 安静

下村利重 康吉

江列大津山茂 正次

播列姫所吉田氏 利重

江列大津福田氏 光継

薩列鹿嶋國興 重好

越後系齊村氏 義鄰

郭云まゝそて坊たりやかれ蚊屋
 貞室

夕涼ハ蚊帳とつてそて
 蚊やハ世猶風はすくーきりお
 曰

夏虫 先師述

あんらんハをのつとなれ虫新外
 火線はすや身とらふのハ蚊を虫
 木村太郎在徳 重順
 系清水半信在 梅森

若竹 先師述

まゝしてゑをわけわらやと年生
大教と持しや竹乃子徳人
女并乃子持造や教とくみ
竹の子や城の水子うの乃肉
竹の子乃あつまたいさくや教風
并の子もあつらとあつ志福人に
竹の子やさくさくかろ老乃杖
生さくハ橋娘う登ちり并

愚判

播列姫乃内氏 交云
系平尾小無房 幸以
播列大坂住 如貞
播列文海
播列有馬部 三程
播列有井世氏 行正
丹列福知山乾氏
武列江戶氏 但秀

ふらふ乃よりうけ長子孫うふ
たけのこハくふ大教殿乃世継氣
地あつく持とむけうけれこふ
うけの子もはてつらんた生まれふ
くらすたに生れつこやとあこ竹
せあつもあつ持う竹ハかこ子中
あつ抽ハ姥竹の子れよりひか那
少ハあれとさうなを竹の子中
せいたるやあんか竹のこー生

東堀川後邊氏 宗吉
和列郡山多賀良 一筍
紀列熊野多賀良 正哲
河内清原氏 圓惠
尾列 春宵
播列大坂住 有也
紀列和歌山西尾 貞周
播列姫乃内氏 重勝
播列姫乃内氏 元利

竹乃子の酔わらばく乃青か那
竹のこゝろあそびまればや東坡うま
季吟

杉列大坂住

忠昌

青梅 愚判

花乃兄れんはすけさりよ梅乃味
実ハ落てすけあそ梅乃木立所
信元

尾列津鴻

大橋

佐列吉置氏

早苗 愚判

横田川近き里に田はふり

みく

あ苗よとあやひんた乃横田河
苗と極系よとどりし原田乃字介
皆人乃是し一更れら毎時系
下この子もあてよ苗やうまふ
一甫
盛定
徳窓
安静

尾列磯田加茂氏

一甫

薩列藤三郎

太山氏

杉列井山村氏

盛定

徳窓

安静

五月雨 先作也

かろきれ下と晴間う五月あは
玄砂

武列江戸住

玄砂

一 難波女よあつ布袖笠梅乃海

又月海ふきりしとあつ流るる水

い川の年より大水出たれん

又月海乃流るこ川や大井川

又月海や梅つくよつり池の水

又月海よなつろくあや夜秋船

蚊杓ハ茂くあつせ又月海

あ竹の志けり時やあみされ

愚判

又月海ハ只大虫乃あ東か那

又月海ハ流るくあ乃あり水

又月海ハ夜秋あもあ乃流る水

あ痛於人乃あつ言やりけり

難波以痛やあつあ梅のあ氣水

梅乃あふいうちや神乃憤

夫乃原地あつあつああみされ

又月海やあつたつあああ

あああれや都乃あも今出川

中谷甚太郎

伯列兼尾氏

直久

丹波福知山地野

重久

并野多水

水時又あつ

丹列福知山地野

季吟

徳窓

但列野長野氏

播磨姫路長湊

自笑

指列湯山住

三章

後列大坂井世氏

後列聖山清火氏

江列大津竹内氏

言聽

猿啼よめて

又月あや煮くぬ猿のあやすあ

惠佐

かろつゆ水あきそそれ又月あ

安静

又月あ海つら目有熱り

くろり響かせし時

くあ〜とらけりて酒のほんみれ

貞室

千句独吟せしよ才立

又月あのももや雲のうらげの息

日

競馬

先作也

笑哉ふりさか月毛なる競馬介

東倉森善哉 正久

こぼろもやろふふあなれあるる

伊勢文部共兼 成吉

愚判

りかろるや心乃るれあ〜そろへ

徳窓

目をやしきまのり時め〜あ〜梅へ

東野口仁彦 頼永

菖蒲

付録 先作也

葛蒲刀是そいそ升の川か地
るまれと葛蒲刀や夏木こら
朝日ゆあくい着れよき葛蒲うあ
大和あまれ朝乃葛蒲やあ乃
くくく屋や朝のあやめも一夜書

愚判

士農工やうしをふうぬ家もは
葛蒲刀うまや朝乃朝乃板はり
軒よさす葛蒲やのわりそこのか

東大漢氏

元春

播磨姫路三木氏

知重

東伝青木氏

常耻

薩州鹿嶋

大茂

寺町寂光寺

泰秀

紀伊和方山見氏

貞長

至東内海氏

常可

安重

軒乃つまはよいらじしめらあやめ茶

口列大津福畏

光継

至西余樋口氏

正信

よののあまらりまや六日れ葛蒲は酢

惠佐

川かて蛇とんやのじ葛蒲さけ

安静

あつさねの蛇のあつさけあやめ茶

季吟

や祿うれ地りよは追さあやめ茶

貞室

書子れ有氣よ入坊り祿ひよ

あつさねの蛇のあつさけあやめ茶

同

あつさねの蛇のあつさけあやめ茶

みく

あきつやめすくま交のりきさのれ

日

石竹 付梅子 久作懸

硯水くひん石竹此花乃家

播列姫路住親

梅子此のりくやあ乃お玉女席

丹波福知山住

野原にも生梅子やお友女席

紀易根来住

かそくこいあうりきあうこ

丹羽志賀梅屋

梅子や父と母あつれしひん

永三系柏氏

正次

永貞

梅子や中さくこれも大和姫

武列江の政氏

但秀

梅子小大和舞する胡蝶か那

播列姫路政氏

文云

愚判

あつ海の程居てんや石此竹

符類屋家世第

政信

咲花やうろ此行人志やう石此竹

播列姫路加月

重助

あつふ咲や大破石乃多け

徳窓

菴小生しつとみて

井せつななとて花よのりや石此竹

本川原町女房

富重

梅さけりや養男石竹乃花此家

赤松若菜

善入

かきしし花壇かきも瓦か那
松子も一滴乃家かきもめか那
床をにのこさ重抱そ宅のあ

振列大坂任 本也
泉島増畑山氏 友利
長崎野沢氏 吉茂

夏草

先仲照

めんひ乃花をみく

井里氏

吉茂

さく花乃顔いさかめんひれいさ
花ふとくあひ眼皮乃目かひい

寺町寂光寺

泰田

あらしの花とわりし目

秋草

振列の目黄れ花やあらし細工

振列大坂井里氏

常久

金根花

薩物麻兒鳴母養

盛延

金根花られとあらしは地

相

利定

目ふつとや鉄線花より金橋花

木村六角在徳

重順

あらしはあらし野乃踊草

泉列博

橋本氏

金寶珠とくあらし

振列大坂井里氏

吉茂

らんくむしと立つとあらし

あらしの草

わろ居も交れあひのさるれめく家
利根多くと 饅飽乃汁のかきか

南山家流
栄善
勝浦
正心

愚判

かよいのとふよ懐きて

やふとて

文添てやうやのんひ乃花れ枝
あや母のせうめうてつせん花
約舟にひの鉄線やうまひり
鉄線や黄金よりのもまらるる

惠佐
徳窓
梅島大坂井里氏
真之
貞因

風車といふ花とみく

江戸姓後流
貞昌

花とあひ乃慰多うのさるる海

尾列
之也

一輪ものす物づくさげ金根花

武島江戸流姓
吉言

酒代乃さう酒あといろく金根花

播磨書山
祐典

賢人や石竹とらん金根花

思ふさうのふ花と生さうの

あ〜

思ふふかしの花な〜さう花もあ〜

京葉高類氏
梅盛
内田氏
平吉

思ふやうのす風乃さう子ほ〜

名ふ拙しとるる花は教わると

ちりくにあるやうのまう〜 確花

安静

淡乃花とよめて盡つてとみて

妙米福井住

吉昌

いひまてもしけそて盡つてとみて

京素野村氏

洋雲

水草

文作悲

河乃の乃いん心い水は筋まうれ

江守河原氏

但秀

わり菱よりるを葉してや浪枕

播州姫路氏

文云

愚判

かうのやうハ涙よりとる水

徳窓

うのりやう水乃乃るあらる

江戸富田氏

基明

鹿子

文作悲

かすの野やわら葉乃そうののこ

季吟

愚判

とむら矢れせんさくやあは鹿子猫

徳窓

扱あするや水もしれ糸の鹿子結

貞因

目あらずや火車にふるれ男鹿の子

貞室

黙狩

愚判

後世お人何げんもれをかり此宿

勢和七名百歳
良利

柘榴花

先師慈

あゝ花乃咲いさしく柘榴か那

丹列福徳乾
直政

愚判

乃ふ之て柘もさたりや花柘榴

備列世山松村
幸増

九里子質といふ人のいさなり

右竹と花柘とをさるれ

又の思ふよふ

右竹と地あゝ根さゝや花柘

貞室

枇杷實

先師慈

持換乃涼さふりや枇杷菓

第五條大演空集
元春

氷室

愚判

きふまてもろり番志つる氷室守 内田氏 平吉
老乃齒ハきふもけりまし氷餅 貞室
卯月よりきこえて氷室やうきあめ 日
ころめてふと勢もあれる氷室山 日

水鶏 愚判

みいりもにきわら水鶏や津たき 清水氏 言聰
よられあふ又たかろくしるふ 貞室

蟬

先作 愚判

あそと吞て時多になくく鯨の声 薩西麻屋 大山氏
声あつふるまわね蟬や花系磬 季吟
柳よらえんとん経るめん乃一息 杉川大坂村氏 重順
和列あて
多武の筆よ事て鳴蟬やかろ衣 播州姫路氏 史玄

蝻蟬や時節不同乃哥合 徳窓

夏よむも題ハ時ぬそせらん乃哥
されう鳴るもやうんらんせつとさうか
青葉うとみまの蟬おれぬ小枝小
物なくハ舟らひ種う蟬乃声
り河乃書や自強と蟬れし志
蟬の声きくも木のすゑ夏は志
うの蟬ののむけハかきくたを水
との者乃けいもやはのる蟬れ志

水無月鳴るよ

江列六律高橋氏
正信
播列三木五重
但加生野長野
業秀
敢賀野沢氏
永吉
児玉三郎終末
貞利
紀和和密白方
貞長
江列大津竹内
長則
惠佐

蟬乾うらふ夏をうらむせらん乃種

日

夕立

夕作熱

ぬえと夕立ハこわひうらむれお那
福やとりうらむ立ハまらうら刀
夕立ハおふきりぬう大白山
夕立やあつさゝのきれゆり庭
きさ方の夕立よいらうら乃

なりんらん

系五系清水
宗珠
系五系清水
一慶
丹列福知山首
重正
播易姫路吉田
利重

夕立とよふふさく一文字うふ
夕立とやうてうらうらひ
いふはうもあつ夕立や御神体

愚判

ゆふさうの作は雲次乃類うれ
夕立やうくあり足をも出雲物
物うふれは夕立ハけふ縁うふ
夕立は折うもるりやうらうらり
よきにのこつ夕立やあつてうら

播磨姫路玉守寺

政次

糸山本善共米

善入

季吟

東文住三郎

能貴

丹列福知山長

元重

播列三本五白尾

茂下

播列三本五白尾

寛政

播列姫路徳内

吏云

夕立ふ風乃手廻るや中嘘咳

加友

夕立もや日又六月乃晝此船治

但列生野寺畏

豊重

竹切乃日夕立くくれハ

播列大坂川民

正利

夕立や竹切乃神子鞍馬山
西終と切白面やそんたやま

備米安會益

章浦

夕立小切地まきくや月此弓

貞室

扇

先師題

扇より黄嗜や汗乃とめり子り

玄砂

書とあふ繪やいさく地の扇水
棟阿知子氏 定宣

兵法うつふ扇乃ううく坊りく
松平氏 永定

金根乃扇ハ風乃れしてか那
作者茹 丹列福知山住

暑さごと切拂わつ武志扇
播磨姫路武長 長吉

ふりありとまとも團扇れ細糸
三吉

愚判
折こみて風ふひつら扇うふ
江列大津福田氏 光継

あつさ坊り具よるとりふ
豊重

物持うとみく
武列江戸武蔵氏 重久

馬乃身小風あてく坊り扇水
武列江戸武蔵氏 重久

あつさ坊り具よるとりふ
薩西藤見嶋 大岩

あつさ相撲とわつや風乃神祭
東三桑高瀬氏 梅盛

風乃神れさるの菊あつさ
八幡へまて坊り時

八骨乃扇や風乃かんだりく
泉列塙寺氏 惠佐

山くよとむ墨繪の何あつさ
武列江戸村松氏 一守

あつさとめてり山もえよう此扇水
松列大政住 弘武

あつさこそ暑さひつらいよ好ゆか
元与

扇さす腰や月為ふ要乃字
搦乃地よそふ折紙のあきさ
御いこたさあわさきこのた扇
入目より夕風ま縁け舞扇
是もまゝいせぬいあたり修舞扇
風と云文字たたりや唐園扇
まろりの縁りものぞみそ
よみさけて縁りいたる子そ奈良園扇

敦賀本井氏

重次

江戸昌雲軒

春清

尾列任

有也

振列任

貞因

振列任

好道

貞因

振列任

保友

夏月

夏作題

涼いさ月と扇やうららあり
中にあつあつや月た扇の繪
螢火とらちり月乃扇か那
夏も草とりしよ葛城乃月足外
西条のよれひろくや夏乃月
夏れ秋ハ一馬場よからる月毛か

高麗氏

梅盛

播磨姫路吉良氏

廣寧

長崎野伏氏

利重

振列任

玄茂

武列任

當心

武列任

重成

愚判

見とれてハハハ秋と〜も夏は月
 夏乃月乃夕ふ〜と待あふき
 夏乃秋は月や程尋乃方は程
 夏ハ脚とかわめてハハ月乃秋
 す〜わろハ綺ふハハ月ハ扇ハハ
 涼風と〜とすや月乃弓ら〜
 あまれた戸に扇〜もふふは月

祇園會

先師悲

貞因

戸嶋氏

良俊

川平

吉次

惠佐

佛本福井山

云来

貞室

日

祇園をや祇のまに〜山
 根〜み乃菊并ハハ縋多繩
 十回ハハけふ〜ま交りハ

移列大坂住

女貞

寺町寂光寺

泰秀

佛師

正勝

桑倉森善

正久

愚判

キ〜や山ふ木乃あり祇園會

三葉寺山氏

梅威

マ〜の〜物〜

田中氏

可雪

傘并乃文字乃小人も復者ハ
 山も川ふるも津嶋ハ祇園ハ

尾列住

之也

永年やよき後すは河の棚
負利
見玉三郎左衛門
永年よめて七日乃お籠り
安靜

乳 付小角豆
芝師慈

わんてんやいんてんていこま乳
薩西藤見海
太密
播磨姫路五條氏
重利

かこさうりなる富極うさるて

かこさうりなる地すてもま六茹
播磨姫路武具
三香

愚判
武具

大きめてやううれるや大和乳
武列守山氏
貞利

小娘乳らさうりて帰所約か那
江州大津名富氏
元永

出雲乃人れあいはりり

八重垣ハ稲田娘うらら島か那
播磨姫路貞氏
是誰

夕魚
芝師慈

小娘のやむて夕のやめさ柱
小谷甚太郎
久惠

愚判

夕うやけふららわ花のえ
正頼

夕ぐさの十九去月乃や花さくる

くしめて獨吟志ゆる各々

ひまうさんお志のくはれありの

知因

貞室

鶴川

愚判

つふ鶴乃噴より出るやあいな

鶴つふれ噴をくしめてる月夜

鶴ハ水ふ火ふも入ぬる篝か那

尾列箕浦衆

藤友

紀初和山日方

貞長

貞因

水色れ濁流も結乃一わさ

交川や春と秋とれ結乃魚

愚判

目みわたしてふにささぬわや

とくぬ日ハ結よつと海、河色如那

塘乃あて牙とやさ河ハれ料理

実人よあいなやうたのいふわれ

播磨姫路 歩重

作首不知

梅盛

貞因

安静

有也

尾列住

蓮

芝師照

蓮より出るや佛乃清多れ糸

播州姫路池内氏

池のそとよかりてもみろや蓮花糸

糸倉森善菴

とくくう自ふハ忠史蓮花糸

秋田中代善徳

る凡や清難少法日蓮華

尊為

武列池うこりて

池うこふわや妙法蓮華糸

南都

當黒

池よ波の文字よわやまけんけ糸

坂氏

うううやうまうけあ心蓮花糸

越後柏崎大宮

一範

愚判

こころのこころふ花あけ蓮の白糸

糸油法蘇井氏

葉ふそくく秀やまけんけの筆すき

秀朝

とす糸てすくやちうひ乃阿弥陀佛

古次

糸川と蜻とふいとてそちすくま

大山氏

玉生乃蓮乃よまうりふ

恵佐

糸さうありたれん

ひうわいんらんまふれ蓮うれ

安静

花と香と云ふこと一夏の草のまかれ
貞室

暑氣
先師題

十界と四季にあてて各言
物一ふ人間

八苦あももすハ九夏乃異さ所
愚判
季吟

名あ行よまあつハあつと日のけ
貞因

泉
先師題

見み原よりふあつと泉所
味置久五郎
正佐

愚判

あもわくわく泉或初うむ縁はら
和列郡山地民
直成
いさうあひ底とひやうん泉うま
正式
まよりて扇とたむむ清水のれ
泉列郡中河民
祐茂

あつ山伝のりりるの介よ
そのなりりよ流さ水流れ倚

あるの傍に水を使ふこと
夏に八位法師かたのしるを
あてききつゝのよふにされて

唐室もたよりよきしるを
惠佐

納涼

东山遊真乃のつゝ小紙園の
沛流雨よけの板木の陰よ
まやすしひて秋よと行

友人と侍ゆけりゝ紹巴法師
まろくして志すゝゝりし海り
けりゝりけり

涼一さだに榎木もやらぬ事陰小
玄旨

法師慈

鈴風りゝあつけハ肉侍下か那
夏一人とすゝゝめは人風乃神
涼一さだに命乃薬いゝこれ雲
如真

龜山乃のそと

下流天の町豊良氏
元重
播州姫浜垣良氏
史云

凍くをわこてまねきする玉柏 孝吟

愚判

氷抗ハるる人凍く波かーら 但列生野長徳氏 業秀

あり寺ありく

香盤乃涼風か初れ寺れ場 系友田氏 正久

稜

足師慈

氷玄月なほいそ秋のまづり水 福 利定

愚判

ゆあみとあふれ葉てするそふ 勢列葉名停慈 良利

只難や流してよそにをき河 貞室

身やすの道水玄月なほいそ水河 曰

雜夏

足師慈

盛夏あもとらえわや扇宙去書 正氏 忠勝

あさうけけー四五六月れ志さる星 移列山下氏 正次

中あーのなみく

秋田ふたりの中やうりりりー酒 移列大徳寺持氏 重順

篝火でやすらや鶉飼乃夜枕結 薩加藤見鳴 大山氏

うねもこのかゝるもつふ争れ海 江戸河形氏 季吟

魚人なれ虫氣よかるや云生 寺町寂庵寺 但秀

大和あも織かゝるひくれまぬ界 春吉

愚判

とこがらんと下らん花乃こやこ 江戸安井店助 敏康友

花かまき魚釣針も蠅かゝら 花田九郎 正久

とくもそも石にかるくやすれ結 白津田五郎 貞頼

風もあまり魚もたまるや扇網 下村利基 康吉

浪乃あや氷もれ子乃うき 播列姫路良 交云

生玉へ雨後思ふまうりて

雨後や神よねと銭かけ踊 貞因

雲乃巖女天物たをー雷枕念 泉列岸智任 良辰

秤てふ富士様定や雪なげ 徳窓

昼ハ下らしよらの初まろや富士坊 江戸法橋代 重久

風爐乃茶れまのめもうりし細糸 依列重山氏 重房

人のかりき銀の百ヶ目小

袖ふをくや百目銀の花乃あ 貞室

七巻内



